



HEIWA PAPER

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)



2019年11月13日

上場会社名 平和紙業株式会社

上場取引所

東

コード番号 9929 URL <http://www.heiwapaper.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清家 義雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長

(氏名) 高木 修

TEL 03-3206-8501

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,283	0.3	81	0.7	134	8.7	79	3.3
2019年3月期第2四半期	9,309	1.2	81	61.0	123	25.2	76	25.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 15百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 259百万円 (51.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.22	
2019年3月期第2四半期	7.92	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,799	8,638	51.4
2019年3月期	17,717	8,702	49.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,638百万円 2019年3月期 8,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		5.00		5.00	10.00
2020年3月期		5.00			
2020年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	1.5	260	2.1	344	0.8	238	5.4	24.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	10,116,917 株	2019年3月期	10,116,917 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	474,099 株	2019年3月期	474,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,642,818 株	2019年3月期2Q	9,694,840 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な内需による高水準の企業収益と着実に改善している雇用・所得環境の影響のもとで、設備投資並びに個人消費も増加傾向が続き、緩やかに回復しています。

紙パルプ業界におきましては、印刷物のデジタルシフト等の構造的な需要減少、5月の大型連休や天候不順による需要減に加え、供給不足による品薄等も影響し、紙及び板紙の荷動きはパッケージ向け需要の一部を除きともに低調で、紙・板紙合計での国内出荷量が前年同四半期実績を下回る結果となりました。

このような経済状況のもとで当社グループは、主力としている高付加価値の高級特殊紙販売拡大に向けて、デザイン・クリエイティブ部門への販売促進活動を強化、高機能な技術紙や高級パッケージ用途商品の開発と拡販、新規顧客の開拓に注力いたしました。また、SDGs、脱プラスチック等の社会ニーズに向けた新商品開発に努めるとともに、物流・営業・内勤業務における高効率ローコストオペレーションの着実な取り組みを進めております。これにより、商品区分のうちファインボードとベーシックペーパー及び技術紙において前年同四半期実績を上回り、平和紙業単体の実績では、前年同四半期実績を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の業績においては、売上高92億83百万円(前年同四半期比0.3%減)、経常利益1億34百万円(同8.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は79百万円(同3.3%増)となりました。

<当社の商品別の概況>

当社グループは、和洋紙の販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであり、当社の和洋紙卸売業の売上高は連結売上高の90%超を占めるため、当社の商品別の概況を記載しております。

品目別	前第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンシーペーパー	2,321	26.5	1,989	22.7	△14.3
ファインボード	956	10.9	994	11.3	3.9
高級印刷紙	2,000	22.9	1,980	22.6	△1.0
ベーシックペーパー	2,414	27.6	2,648	30.2	9.7
技術紙	961	11.0	1,070	12.2	11.3
その他	92	1.1	91	1.0	△0.8
合計	8,747	100.0	8,774	100.0	0.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

[ファンシーペーパー]

多様な色、表面性、風合いを持つ高付加価値特殊紙のファンシーペーパーは、デザイン・クリエイティブ部門への継続的な提案活動や各種商品説明会等開催の結果、高級パッケージや商業印刷用途等が堅調に推移しましたが、書籍装丁用途や東アジア向けの輸出が減少し、売上高は19億89百万円、前年同四半期比14.3%の減少となりました。

[ファインボード]

ファンシーペーパーの厚物(板紙)であるファインボードは、化粧品や食品等の高級パッケージ向けの販売量が増加しました。また、各種販促物や商業印刷用途も堅調に推移し、売上高は9億94百万円、前年同四半期比3.9%の増加となりました。

[高級印刷紙]

独自の風合いを持ち、通常の印刷用紙より高価格帯の高級印刷紙は、名刺・封筒等の紙製品やパッケージ用途が堅調に推移しましたが、商業印刷や書籍装丁用途の販売量が伸び悩み、売上高は19億80百万円、前年同四半期比1.0%の減少となりました。

[ベーシックペーパー]

上質紙、塗工紙、色上質紙の印刷用紙、包装用紙、各種板紙等で構成されるベーシックペーパーは、商業印刷物、書籍、製袋、医療品パッケージ用途や、名刺・封筒等の紙製品用途の販売量が堅調に推移し、年初に行われた印刷用紙等の価格修正の影響もあり、売上高は26億48百万円、前年同四半期比9.7%の増加となりました。

[技術紙]

通常の紙にはない特殊機能が付与されている技術紙は、耐水撥水性機能紙が低調に推移しましたが、合成紙や各種工業品製造用工程紙、偽造防止用紙等の販売量が増加し、売上高は10億70百万円、前年同四半期比11.3%の増加となりました。

[その他]

家庭紙、紙加工品、製紙関連資材他で構成される当区分では、ペーパータオル等家庭紙の販売量は増加しましたが、製紙関連資材や各種紙加工製品の販売量が減少し、売上高は91百万円、前年同四半期比0.8%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて9億18百万円減少して、167億99百万円となりました。主な要因は、商品1億29百万円が増加したものの、現金及び預金86百万円、受取手形及び買掛金7億4百万円、電子記録債権2億2百万円、投資有価証券78百万円が減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて8億54百万円減少して、81億60百万円となりました。主な要因は、短期借入金1億円が増加したものの、支払手形及び買掛金8億42百万円、未払法人税等66百万円が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて63百万円減少して、86億38百万円となりました。主な要因は、利益剰余金31百万円が増加したものの、その他有価証券評価差額金79百万円、為替換算調整勘定15百万円が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2020年3月期の連結業績につきましては、以下の通り見込んでおります。

売上高	19,400百万円	(前期比	1.5%増収)
営業利益	260百万円	(同	2.1%増益)
経常利益	344百万円	(同	0.8%増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	238百万円	(同	5.4%増益)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,973,829	2,887,358
受取手形及び売掛金	5,536,361	4,832,188
電子記録債権	1,505,084	1,302,310
商品	3,689,553	3,819,538
貯蔵品	50,337	49,640
その他	97,856	109,766
貸倒引当金	△680	△592
流動資産合計	13,852,341	13,000,211
固定資産		
有形固定資産	898,342	902,150
無形固定資産	87,064	94,295
投資その他の資産		
投資有価証券	2,514,051	2,435,078
その他	369,235	371,217
貸倒引当金	△3,517	△3,517
投資その他の資産合計	2,879,769	2,802,778
固定資産合計	3,865,175	3,799,224
資産合計	17,717,517	16,799,435

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,990,480	5,147,710
短期借入金	2,103,176	2,203,542
未払法人税等	114,716	48,376
賞与引当金	118,878	95,888
その他	270,434	238,632
流動負債合計	8,597,686	7,734,150
固定負債		
退職給付に係る負債	208,455	219,880
資産除去債務	65,883	66,435
その他	143,475	140,438
固定負債合計	417,814	426,755
負債合計	9,015,500	8,160,905
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,107,843	2,107,843
資本剰余金	2,331,387	2,331,387
利益剰余金	3,860,751	3,891,864
自己株式	△218,636	△218,636
株主資本合計	8,081,347	8,112,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614,331	534,779
為替換算調整勘定	6,338	△8,708
その他の包括利益累計額合計	620,669	526,070
純資産合計	8,702,016	8,638,530
負債純資産合計	17,717,517	16,799,435

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,309,668	9,283,330
売上原価	7,603,054	7,540,329
売上総利益	1,706,614	1,743,001
販売費及び一般管理費	1,624,725	1,661,648
営業利益	81,889	81,352
営業外収益		
受取利息	645	2,298
受取配当金	27,041	33,676
受取賃貸料	22,062	22,152
為替差益	—	131
その他	3,575	2,777
営業外収益合計	53,324	61,035
営業外費用		
支払利息	3,597	3,458
貸貸用資産減価償却費	2,219	2,002
為替差損	3,889	—
売上割引	1,626	1,839
その他	376	778
営業外費用合計	11,709	8,078
経常利益	123,504	134,309
特別損失		
固定資産除売却損	938	6,579
災害による損失	2,122	—
PCB処理費用	—	3,506
特別損失合計	3,060	10,085
税金等調整前四半期純利益	120,444	124,224
法人税、住民税及び事業税	45,821	34,428
法人税等調整額	△2,201	10,469
法人税等合計	43,619	44,897
四半期純利益	76,824	79,326
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,824	79,326

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	76,824	79,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,051	△79,551
為替換算調整勘定	40,266	△15,046
その他の包括利益合計	182,317	△94,598
四半期包括利益	259,142	△15,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,142	△15,272

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。